

医療メディエーション研修会



平成23年7月30日(土)、松山市民病院「医療安全管理委員会」「安全部会」「看護部教育委員会」共催による『医療メディエーション研修会』を全職員対象として開催し、154名が受講しました。

日々、留まることのない診療や療養の場面で、些細な出来事が大きな問題に発展してしまうジレンマを感じるものがしばしばあります。日本医療メディエーター協会四国支部代表の今川俊一郎先生は「ボタンの掛け違い」と仰いました・・・『ほんと、そうだなあ』と考える今日この頃です。真摯に医療・看護に取り組む私たちが患者様のインタレストに気づき、寄り添うことが出来ればと思っています。

今回の研修は、職種を越えて受講することにより『病院としての取り組み』と

いう意識が強まり、大変刺激になりました。今後も継続して学習したいと考えています。

注射点滴の患者取り違え防止システム稼働

入院患者様の注射・点滴の際の取り違えを防ぐために、携帯端末(PDA)を使用して確認するシステムが7月に導入されました。人間の能力だけに頼っていたのではミスを減らすことに限界があります。ITを活用し、患者様のネームバンドと点滴のラベルをPDAで認証することで、より安心して入院治療を受けていただけます。

ユニフォームが変わります



看護師、看護補助スタッフのユニフォームがパンツスタイルに変更されたのに引き続き、秋より事務職員のユニフォームが新しくなります。ライトグレーのチェック柄のベストに、ブラウスは2種類異なる3色のパリエーションで、明るい雰囲気になります。

日本病院脳神経外科学会

7月16、17日に松山市「ひめぎんホール」において開催されました。当院職員からも多数の演題発表があり、また座長や司会を務めるなど、大勢の協力のもと無事に終了いたしました。お疲れさまでした。

医局ゴルフコンペ

松山市民病院医局ゴルフコンペは、年間を通して春と秋に3回ずつ、計6回開催しております。医局医師やコメディカルスタッフ、また近隣の開業医の先生方の参加もあり、交流の場となっております。今秋の日程は下記のとおりです。皆様のご参加をお待ちしております。

- ◎ 9月23日(金)道後ゴルフ倶楽部
 - ◎ 10月30日(日)松山シサイド カントリークラブ
 - ◎ 11月23日(水)松山ゴルフ倶楽部
- 【お問い合わせ先】第1医局秘書:松下

資格取得しました

▽リハビリ室・理学療法士 鈴木伸／心臓リハビリテーション指導士▽7S病棟・看護師 瀧本季代／日本糖尿病療養指導士▽7S病棟・看護師 宮本美香／日本糖尿病療養指導士▽リハビリ室・理学療法士 中田亮輔／愛媛糖尿病療養指導士▽臨床工学室・臨床工学技士 森西啓介／呼吸療法認定士



黄菖蒲 Iris pseudacorus

黄菖蒲は帰化植物であり、在来種との競合駆逐の恐れのある“要注意外来生物”の一種とされる。アヤメは、紫色であり、黄色はまさに黄信号という訳である。虫媒花であり、外花被片の中央に密標と呼ばれる、虫をおびき寄せるための標識がある。通常アヤメは、紫を背景に際立った白い網目状模様を有しているが、黄菖蒲は、写真に見るように茶色で目立たない。これがまさに、無差別な蔓延化に幸いしていると類推される。かくも細部にわたる思慮深い造詣は、自然のなせる意義深い(神)技であろう。

(写真・文／大拙祐治)

地域連携だより Vol.5

地域連携室 三谷 直紀



これまで、数回にわたり松山市内の開業医の先生方と基幹病院との間でとりおこなわれて参りました地域医療連携のための合同ブロッ

ク会議に参加させて頂き、松山市民病院における病診連携の現状をご報告させて頂く機会を与えて頂きました。

会を通じて開業医の先生方とお逢いさせて頂くなかで地域連携においては face to face の関係を築くことが、大切だと実感致しました。

また地域医療において重要なのは地域の医療機関が患者様をその中心において、それぞれの機能に応じて役割を分担していくことこそが患者様中心の地域医療につながるのではないかと考えます。

会の開催にあたり、ご尽力頂きました医師会関係者の方々ならびに、運営委員の先生方にはこの場をお借り致しまして深くお礼申し上げますとともに、今後も、基幹病院としての役割を十分に認識し、先生方からのご要望・ご期待に添えるべく地域連携室としての機能の充実を図っていく所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。